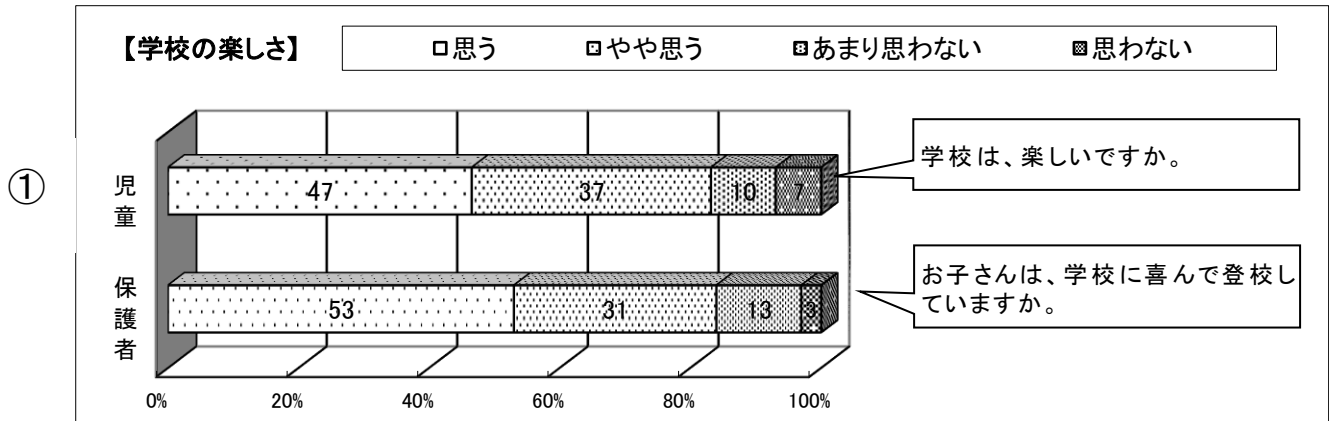


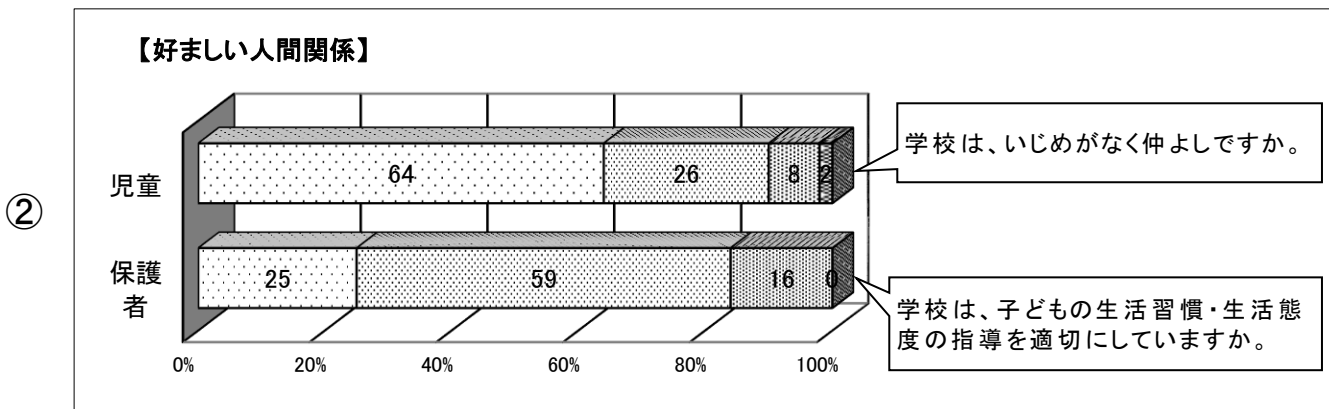
社日小 学校だより特別号 令和5年度「教育活動」アンケートより R6年2月

昨年末に協力をお願いしました「教育活動」アンケートの結果がまとまりましたのでご報告します。来年度、子どもたちのために、さらにみなさんと力を合わせてがんばっていくための貴重な資料と考えています。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

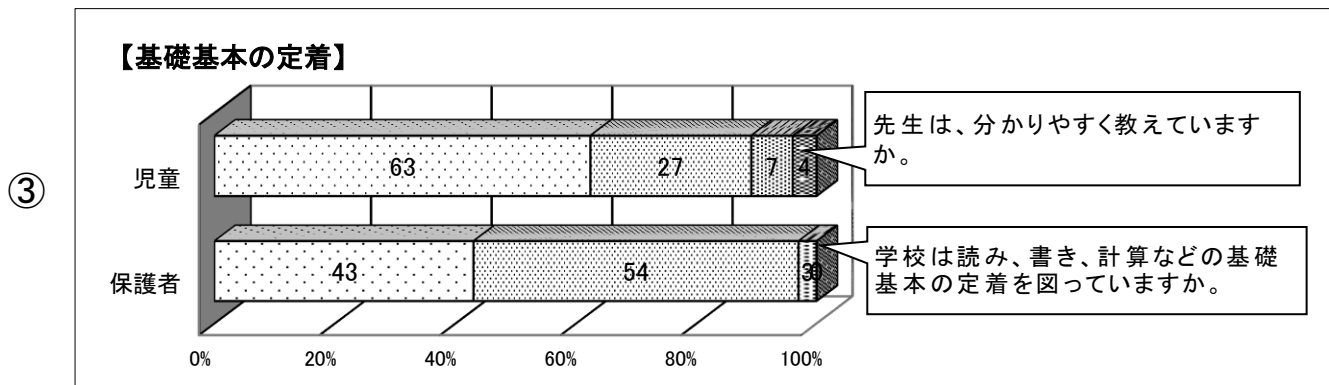
児童・保護者ともに「思う」「やや思う」「あまり思わない」「思わない」の4段階による評価を行っており、グラフ中において左から順に表示しています。したがって、左側の枠が大きいほど肯定的な評価となり、右側の枠が大きければ否定的な評価と読み取ることができます。(数値は%)



子ども達が安心して楽しく過ごすことのできる学校づくりに向けて、日々の授業や学級づくりを工夫していきます。また、子ども達同士や子ども達と教職員の温かい人間関係づくりを進め、「学校が楽しい」と感じる子どもがさらに多くなるよう取り組んでいきたいと思ひます。



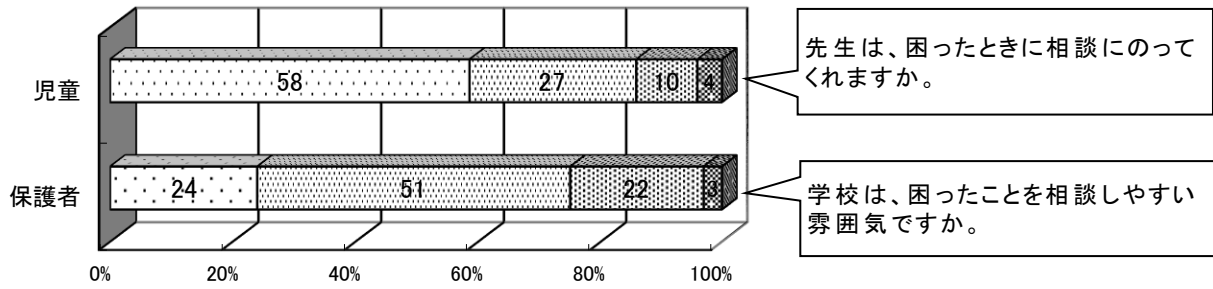
①にも関連しますが、行事などでのメッセージ交換や人権集会など、子どもたちが互いの良さを認め合い、大事にする活動に続けて取り組み、安心して過ごせる学校づくりを今後も進めていきたいと思ひます。また、委員会や6年生が中心となったあいさつ運動などを進めるとともに、適度なメディアとの接触などの課題に対応していくため、PTAとも連携して、よりよい生活習慣ができるよう研修などを実施していきたいと思ひます。



授業では引き続き「分かった」「できた」を感じる授業を実践し、基礎・基本的な学習内容の定着を図っていくとともに、子どもが主体的に学習していくことができる授業の工夫を進めていきたいと思ひます。また、家庭学習の手引きを活用して、ご家庭と連携した学習習慣の定着も進めていきたいと思ひます。

【相談のしやすさ】

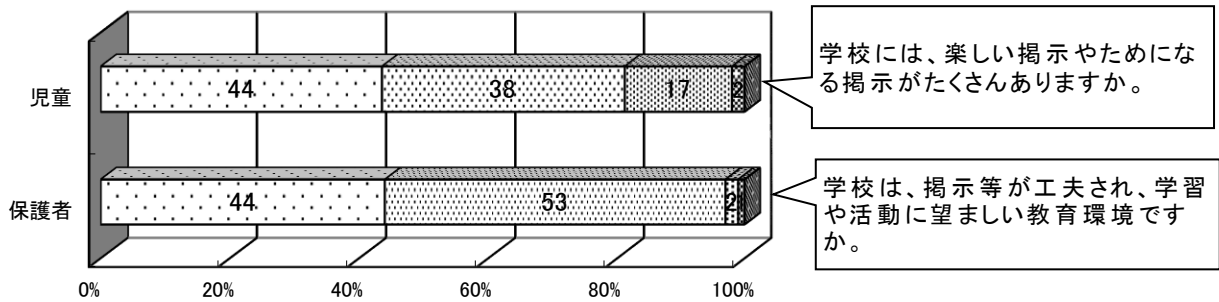
④



年2回教育相談の期間を設け、時間を確保して子どもと話す機会を設定するだけでなく、子どもと教職員の温かい関係づくりに努め、引き続き日常から何でも相談できるようにしていきたいと思っております。SC（スクールカウンセラー）も、定期的に来校していますのでご活用ください。また、個別の面談や電話連絡、連絡帳等で保護者の皆様からの連絡や相談等に応じ、日頃から保護者の皆さんとのコミュニケーションをとっていただけるよう努めていきたいと思っております。

【掲示等の望ましい教育環境】

⑤

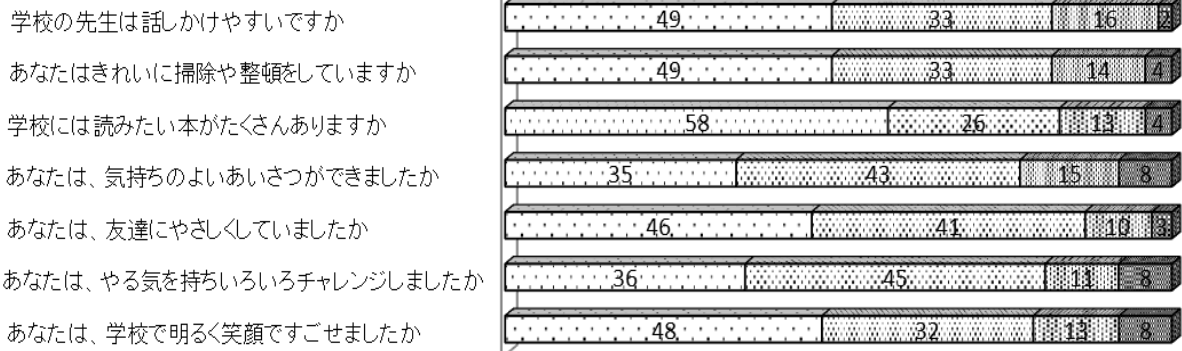


子ども達が落ち着いて学校生活を送ることができるよう、掲示等の工夫だけでなく整理整頓に努めてまいります。また、自学ノートの掲示など学習面でのがんばりを紹介し、子どもの学習意欲が高まるような掲示も工夫していきたいと思っております。

①から⑤までは、児童と保護者の回答を比較し紹介しました。並べてみることで、気が付くことも多くあります。子ども達の成長には、ご家庭と学校が一緒になり関わり携わっていくことが大切です。子ども達の成長のためにできることを、今後も皆さんと一緒に考えていきたいと思っております。

児童のみへの質問

□思う □やや思う □あまり思わない □思わない



学校の先生は話しかけやすいかの質問は、④の相談しやすさにもつながります。子どもとのコミュニケーションを今後もしっかりとっていきたいと思っております。

掃除や整頓については、委員会活動など子どもからの発信や、学級での指導を日常から

行い、子どもの意識を高め、落ち着いて学べる環境づくりを進めていきたいと思ひます。

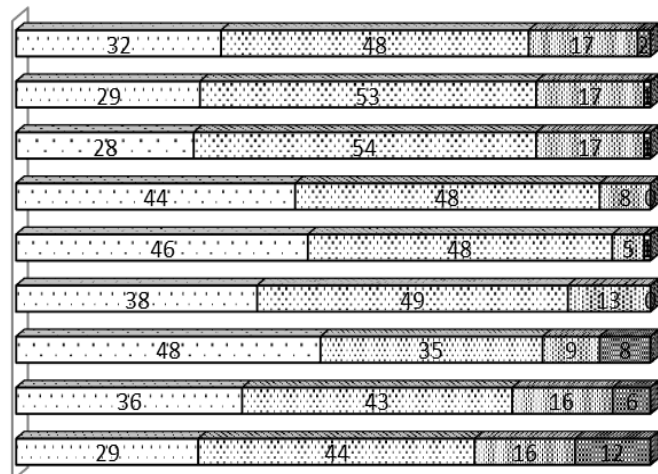
図書館の本は、子どものリクエストも踏まえ、学校司書、担任で選書を引き続きしていきます。

下4つの項目は子ども達の自己評価になります。あいさつについては、6年生の宣言以降意識が高まってきています。宣言したからではなく、子ども達一人一人が意識をもってあいさつを交わしたり、廊下歩行をしたりすることが続くよう、委員会活動などで子ども達自身による取り組みを継続していきます。今後も、子ども達が明るく元気に学校で過ごすことができるよう教育活動を進めていきたいと思ひます。

保護者のみへの質問

□ 思う ▣ やや思う ▤ あまり思わない ■ 思わない

- 学校の教育方針などはわかりやすいですか
- 学校は学ぶ意欲を高める努力をしていますか
- 学校は子どもの良いところを見つけてほめていますか
- 学校は安全面で安心して送り出せる環境ですか
- 学校は安全面の情報を適切に伝えていますか
- 学校は便りなどで学校や子どもの様子を伝えていますか
- お父さんは宿題などの家庭学習をきちんとしていますか
- お父さんは、家で学校の話がされますか
- お父さんはゲーム等のルールを作り守っていますか



全体的に肯定的な評価をいただいています。また、ホームページなどによる学校からの情報発信を随時行っていますので見ていただければと思ひます。ご家庭での学習習慣やメディア等との接触時間は、学力にも結びつきます。学校においても、学力の定着に向けて取り組んでいますが、ご家庭でもゲーム時間などをお子様と話し合い、家庭でのルールづくりなどを進めていただければと思ひます。毎学期行っている「勉強・生活リズムチャレンジ週間」を機に普段の生活を見直したり、PTA研修を継続して実施したりするなど、保護者の皆様と一緒に考え取り組んでいきたいと思ひます。

自由記述より（全体に関わるものを抜粋）

【質問】

自由記述の場合だけ、なぜ記名が必要なのでしょう？

→自由記述に書かれる内容には、個別に回答が必要な場合や質問や意見についてもう少し詳しくお聴きする場合などがあり、記述の際に記名をお願いしております。

また、記名方式では、言いたいことも言えなくなるのではという意見もありました。匿名であれば心理的安全性が確保され、率直な意見が集まりやすいというメリットはありますが、一方で、匿名にすることで一般的な回答が増えたり、個別への対応が難しくなるといったデメリットもあると思ひます。学校としては、これらメリット・デメリットを考慮し、自由記述を書かれる場合は記名をお願いする方法を取っています。

学校評価は、教育活動の成果や課題について意見をいただくことで、教育活動をよりよいものに改善していくために行っています。学校としては、保護者の皆様のご意見を真摯に受け止め改善していく思いを持っています。学校評価の時のみならず、ご心配なこと、ご質問等ありましたら、いつでも遠慮なくお問い合わせいただきますようお願いいたします。

【意見】

小学校前の道路状況がとても怖く感じます。30キロ速度とありますが、下校時には走って帰る子ども達等ドキッとすることが多々あります。何事も起こらないことを望みます。

→登下校については地域からの通報もあり、繰り返し指導を行っていますが、十分では

ないところもあります。ぜひご家庭でも登下校の安全な歩き方について指導いただくとともに、危ない場面を見かけたらその場で指導していただきたいと思います。

校門の前の横断歩道付近の道路の端は舗装されてなく、雨の日は水たまりもできるので、毎年改善の要望を出しています。通学路について危険な箇所、改善が必要な箇所等ありましたら、学校まで知らせください。

【意見】

外部から校舎敷地にいつでも入れる環境について

→大学の附属小学校など、敷地を塀で囲み入口に警備員を配置している学校もありますが、公立の学校でそのような対応は難しい状況にあります。

学校では、不審者が来た場合の対応をマニュアル化し、いざという時児童の安全を守るための行動がとれるようにしています。また、長期休みの期間を利用して、教職員向けの不審者対応訓練を今後計画していく予定です。

【質問】

生活習慣、態度はどのように指導されていますか。

→小学校では、基礎的な学力をつけるとともに、集団生活を送る上で望ましい生活態度を身につけることが重要とされており、日々繰り返し指導をしているところです。

学校生活において、「あいさつ」「話を聞くこと」「廊下歩行」「整理整頓」など、誰もが安全に気持ちよく生活するために必要なことを、学年の実態に応じて学級活動の時間等を利用して指導しています。

また、例えばあいさつでは、委員会が中心となってあいさつ運動をしたり、児童集会であいさつの大切さを劇にして発表したりするなど、全校で取り組んでいます。

生活習慣については、学校の指導だけでは難しいこともあり、家庭と連携していくことが大切です。「早寝早起き」「歯みがき」など、基本的な生活習慣が確立できるよう、ご家庭での協力をお願いします。

【意見】

担任の先生だけでなく学校全体で、暴力はどんな理由があっても絶対にダメということを、諦めずに指導して欲しいです。

→「手を出すことは、どんな理由があろうとダメ」ということを、トラブルが起こるたび、繰り返し指導しています。これは、我々大人も同じです。教師の体罰や、保護者の虐待が問題になることがあります。指導やしつけの一環という名の暴力は、子ども達に悪影響を与える、許されない行為です。かっとなったり、うまく言葉で言えなかったりするなど、様々な理由で手が出てしまう児童に対しては、これからも粘り強く指導していきたいと思います。また、言葉による暴力に対しても、同様に指導していきます。

【意見】

従来通りのスタイルを超えて、子どもが楽しく意欲的に学べる授業作りを工夫して欲しいです。

→子ども達が、「分かった」「できた」を感じる授業を実践するとともに、子どもが主体的に学ぶことができるよう課題の提示や教材の工夫、ICTの活用などに、より一層取り組んでいきたいです。また、学校だけでなく地域に出て、地域の皆さんとともに学ぶ学習も進め、楽しく意欲的に学べる授業づくりに向けて取り組んでいきます。

【意見】

鼓笛隊の復活を地域の方々が期待しています。

→指導者の問題や学校行事との調整、授業時数の確保、教員の負担等を考慮すると、現段階で学校において鼓笛隊を復活させることは難しい状況です。

スポーツ少年団の様に、合唱やブラスバンドなど地域の方が指導をしている地域もあります。よいアイデアや地域に指導ができる方の情報などがありましたらお知らせください。